

## 【令和6年 二十歳の記念式典祝辞】

今日は、20歳を迎えられた皆さん、本当におめでとうございます。  
またこの式典に向け、ご尽力いただきました実行委員会 浅原義博委員長をはじめ、すべての関係の皆さまに厚く御礼を申し上げます。

さて、皆さん、今見渡すと、本当に色んな服装がいる、色んな髪型がいる、色んな表情の方がいる。  
それがいいと思います。輝いています。

私は、20歳を迎えられた皆さんと「誰かの価値観を否定しない街」を創りたい。  
私が、今日皆さんに伝えたいメッセージはただ一つ。  
「否定から応援へ！」

だから、ド派手衣装も否定したくない。  
だから、ド派手衣装も応援したい。  
誰が何と言おうと、私は全員を応援したいんです。

20歳になった皆さんのチャレンジを、市長として、1人の大人として、精一杯応援します。  
皆さんも、誰かのチャレンジを心から応援するオトナになってください。  
そして、誰よりも、自分自身を応援してください。  
「頑張れ、諦めるな！」って。

そこに自分の思いがあるなら、どんなカタチでもいい。  
精一杯やって負けるんだったら、それでもいい。  
人生って、何度負けても立ち上げられる、チャレンジできる場所だから。

夢を語れば笑われて、行動すれば叩かれる。  
だからもう、誰もバカなことを言い出さない。  
そんな世界は面白くない！

世の中は正解で溢れてる。でも何だか息苦しい。  
そんな世界を変えたいんです！  
みんな、誰かのくれた正解の人生を探そうとしないで、自分が選んだ道を正

解にしてください。

行動すればリスクを負います。  
恐くて震えることもあります。派手にコケることもあります。  
それでも、「自分はこれがしたい」と胸を張って言ってください。

僕自身だって、選挙にボロ負けしました。すべてを失いました。恥ずかしい思いもしました。

もうお前には二度とチャンスがないと言われました。  
でも、応援してくれたんです。仲間が！家族が！  
「俺はお前をいつも応援しとうけ」「お前を信じる」  
嬉しかった。救われた。もう一度チャレンジしようって思えた。

だから、僕はこれから「全員を応援する」と決めたんです。  
今度は僕がみんなを信じる。応援する。  
何度負けたってチャレンジを止めないみんなを、僕が応援し続ける。

そして一緒に創りましょう！  
「誰のことも否定しない、日本一前向きな街を！」

この式典が終わったら、芝生広場に行きます。  
ステージと客席の関係なんかではなく、同じ大人どうし、同じ目線で、皆さんの想いを聞きたいと思います。  
想いを聞かせてください。どんな応援が必要なのか聞かせてください。

以上、私の思いをご挨拶とさせていただきます。  
本日は、20歳を迎えられた皆さん、本当におめでとうございます。

以上です。今年も、ともに、頑張りましょう。

北九州市なら、必ず、できる。  
皆さんの奮闘に感謝します。

北九州市長 武内和久